

# 令和4年度 中学校英語教育推進校における民間テストの受検結果 概要

テストの名称	英検IBA(Institution Based Assessment) 4技能版／公益財団法人日本英語検定協会						
テストの特徴	生徒の英語4技能を測定し、英検級・スコア、CEFR（セファール：ヨーロッパ言語共通参照枠）の目安がわかる。英検の過去の問題を組み合わせ出題される。英検の合格証明書は発行されない。						
測定レベル	2級～4級						
受検校数	17校	受検学年	中2	受検者数	1,786名	受検日	9月～10月の学校が希望する日

## 4技能総合の級判定と受検者の割合

級	2級	準2級	3級	4～5級
受検者の割合	0.1%	1.5%	26.3%	72.0%

受検者（中学2年生）の27.8%が、英検3級以上相当の判定となっている。

国の目標：中学校卒業段階でCEFR A1レベル（英検3級程度）相当以上を達成した中学生の割合50%

受検者の割合



## 技能別級判定と受検者の割合

単位：%

	2級	準2級	3級	4～5級
読む	0.7	1.4	9.6	88.3
聞く	0.2	2.0	27.8	70.0
話す	0.2	2.2	31.8	65.8
書く	0.4	7.2	37.9	54.5

## 技能別正答・得点率状況

	問題の種類
聞く	▲英文を聞き、その質問に対して適切な内容を選択する問題の正答率：38.3%
読む	▲長文読解の正答率：31.1% ※無回答率も他の問題と比べて高い。
話す	▲初見の英文（30語程度）の音読の得点率：35.0%
書く	○課題で求められる内容が含まれているかという観点の得点率：54.0%

- 中学校英語教育推進校では、中学校2年生の段階で3級相当以上と判定される生徒が27.8%となっており、卒業するまでにCEFR A1レベル（英検3級程度）相当以上の英語力育成に向けた授業改善を推進することが求められる。
- 技能別では、特に「読むこと」について課題があり、重点的に指導していく必要がある。